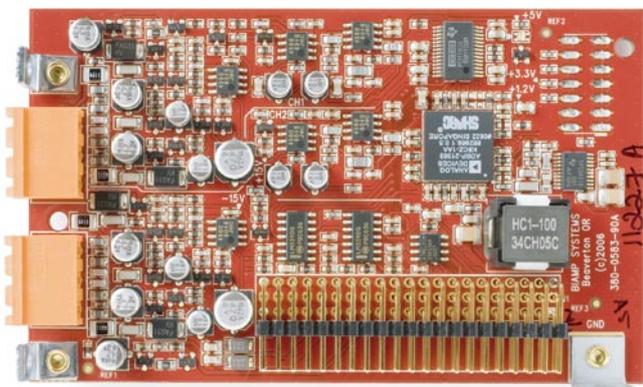




BIAMP AEC-2HD ● AudiaFLEX用2chAECカード



- Audiaをよりテレビ会議や電話会議に適したハードウェアにするための、アコースティック・エコー・キャンセラー・カードです。
- BIAMPが10年以上にも及ぶ経験を集大成した独自のアルゴリズム TrueSoundでレベルの違う信号にも抜群のレスポンスで対応。もちろんワイドバンドで音質も自然です。
- カード自身にDSPを装備、AudiaFLEXのリソースを消費することはほとんどありません。
- AEC2-HDをチャンネルとして選択できるため、Audiaの柔軟性をより高めることができます。
- AEC2-HDを搭載することで、AudiaFLEXに2チャンネルのアコースティック・エコー・キャンセラー機能とバックグラウンドノイズリダクション機能が追加されることになります。

FEATURES

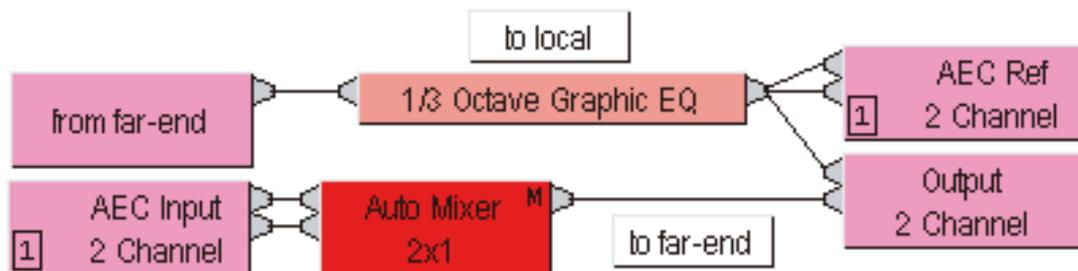
- 独自のワイドバンド・プロセッシングを入力ごとに採用
- AEC入力ごとにリファレンスポイントのアサインが可能
- 固定的に存在するバックグラウンドノイズを抑制
- DSPを基板上に搭載しAudiaのリソースを消費しない設計
- 室内の音響条件変化に素早く反応
- ルームコンパニングを視野に入れた安定動作を提供
- 設定は簡単で専門的なトレーニングは不要
- Audiaとシームレスに一体化する設計

SPECIFICATIONS

周波数特性 (+4dBu, 0dBゲイン)	
AEC ON/OFF	20Hz~20kHz (+0, -0.4dB)
THD+N (20Hz~20kHz, @+4dBu, AEC off)	
ラインレベル(0dBゲイン時)	0.006%未満
マイクレベル(54dBゲイン時)	0.055%未満
テールレングス	最長300msec
コンバージェンス	最大100dB/sec
ダイナミックレンジ (20Hz~20kHz, 0dBゲイン)	107dB (AEC on/off)
入力ノイズ相当 (20Hz~20kHz, 66dBゲイン, 150Ω)	-125dBu
入力インピーダンス (マイク/ライン, バランス)	8kΩ
最大入力 (マイク/ライン)	+24dBu
ファンタム電源	+48VDC (7mA/入力)
入力ゲインレンジ (6dBステップで可変)	0dB~+66dB
サンプリング周波数	48kHz
A/Dコンバーター	24bit

2007.3.発売/2010.2.仕様変更 (AEC関連)

Audiaソフトウェアの設計レイアウト上に配置するときAEC入力は2つのブロックで構成されています。AEC Inputブロックは実際の音声入力、AEC Refブロックはシグナルリファレンスポイントです。会議システムに使用する場合、AEC Refブロックは相手側からの信号のみを受信するよう、またローカルで適用したプロセッシングが影響しないよう、できるだけその出力に近いポイントに接続してください。これが最も正確なリファレンスを得るための方法です。AEC Refブロックは対応するAEC Inputブロックの信号を含むパスに配置しないでください。



バックグラウンドノイズリダクションだけを使用する場合、AECをoffにしてAEC Refブロックには何も接続しません。ノイズリダクションは、空調システム、ファン、モーターなどの機器が発生するような、固定的に存在するバックグラウンドノイズを抑制するためのものです。

